

事業の背景・目的

日南海岸国定公園海域公園及び周辺海域において、大量発生が確認されているサンゴ食害生物のオニヒトデやヒメシロレイシガイダマシを駆除し被害拡大防止を図ることにより、サンゴ群集及び生物多様性の保全を図る。

また、官民関係者との意見交換や意思疎通及び地域住民に対する普及啓発により、サンゴの保全を通じた生物多様性への理解を深めることを目的とする。

事業の内容

事業① サンゴ生息域等調査、サンゴ食害生物駆除

- ・サンゴ生息域や被害状況、白化現象などの調査を行う。
- ・サンゴ食害生物（オニヒトデ、ヒメシロレイシガイダマシ）の効果的な駆除方法の検討及び駆除活動。



事業② 会議開催

- ・日南海岸海域の関係者との意思疎通のため意見交換を行い、地域住民への効果的な普及啓発方法及び今後の継続的な協議会運営について協議や検討を行う。



事業③ 普及啓発

- ・子供たちを対象としたサンゴ観察会と講話を実施し、環境教育の活動を行う。
- ・サンゴ写真パネル展を大型ショッピングセンターで実施し、普及啓発活動を行う。



得られた成果

○駆除活動については、オニヒトデ321kgを駆除し、被害拡大防止によるサンゴ群集の保全を図ることができた。

オニヒトデの発生状況は、大量発生時よりやや収束している状況であるが、深い場所やサンゴの裏に隠れて見つけにくく、サンゴは着実に被害を受けており、海域全体では被害の拡大状況が続いており、引き続きモニタリング及びオニヒトデなどを駆除する必要がある。

○普及活動については、今年度新たな試みとして、子供たちを対象にしたシュノーケルによるサンゴ観察会を実施し、地域の子供たちにサンゴの重要性について伝えることができた。また、サンゴ写真パネル展を2日間、大型ショッピングセンターで開催し、サンゴ礁ウィークの期間中に多くの県民にサンゴの重要性やサンゴ保全を通じた生物多様性への理解を深める機会とすることができた。

○今後も、サンゴ食害生物の駆除活動を実施しながら、環境教育学習など地域の人々がサンゴに触れる機会を増やし、サンゴを保全する機運を高めることで、サンゴ群集の保全、ひいては宮崎の豊かな海域環境の保全を推進したい。